

小学生の部

最優秀賞

神奈川県知事賞

ふくのひ

小田原市立桜井小学校

一年 伊藤 真乃花

わたしは五さいのときからおかあさんのしごとのおてつだいをしています。それはふくをえらぶことです。おかあさんはじゅうどのしょうがいしゃのしせつではたらいています。しせつにはくるまいすのひとやめがみえないひとがいます。ふくがすきなひともいればきるのががてなひともいるそうです。おかあさんがえらぶのはふくをきるのががてなひとのふくです。わたしはよくわからなかつたけど「かわいいピンクのふくにしたら。」とおかあさんにいいました。おかあさんはすこしおどろいて「いつもきやすいふくがよいとおもっていたけれどかわいいのもすきかもしれないね。」といって、わたしがえらんだふくをかいました。

あるひ、おかあさんがこのまえわたしがえらんだふくをりようしゃさんがおうちにきてかえったら、かぞくがとてもよろこんでいたはなしをききました。いつもはすぐにぬぐけれど、かわいふくだといったらニコニコしてきにいっていききました。いままでよごれてもいい、めがみえないからいろもきにしていなかっただけそれはわたしたちがそうだとおもってただけでほんとうはかわいいろやフワフワしたふくがきたかったのかもしれない。ありがとうといっていたとおかあさんからききました。

わたしがかわいとおもってえらんだふくをりようしゃさんがかぞくもよろこんでくれてうれしくおもいました。それから、おかあさんがりようしゃさんのふくをかうひはわたしもいっしょにえらんでいます。すてきなふくをきてわらってくれていたらいいなとおもいます。もうすこしおおきくなったらしせつにいってりようしゃさんとおはなししたりおてつだいしたりしてみたいなとおもっています。